

今日のトピック 原油価格の動向(2016年12月)

OPEC、非加盟国が15年振りに協調減産で合意

**ポイント1 協調減産で合意成立
OPEC、非加盟国協調は15年振り**

- 2016年12月10日、OPEC（石油輸出国機構）とロシアなど非加盟国の産油国は、ウィーンで会合を開き、原油生産を協調して削減することで合意しました。OPECと非加盟国の協調減産は、2001年以来15年振りのことです。
- OPECは11月末の総会で、原油生産量を日量3,250万バレルに制限することに合意しています。今年11月の生産実績同3,387万バレルに対して同137万バレル程度の削減となります。これを受けて非加盟国も、同55.8万バレル削減することで合意しました。期間は17年1月1日より半年間で、その後さらに半年間の延長をするか検討します。

**ポイント2 シェア維持から価格安定へ
サウジアラビアの戦略転換が影響**

- 今回の合意成立の背景には、原油価格下落による財政収入の落ち込みに、OPEC加盟国、非加盟国とも耐え切れなくなってきたことがあると考えられます。特に、OPEC最大の産油国であるサウジアラビアが、それまでのシェア維持から価格安定へと戦略転換したことの影響が大きかったと見られます。

今後の展開 減産合意、需給改善で価格は堅調な推移が見込まれる

- 国際エネルギー機関（IEA）は、最新の予測で世界の原油需要を、16年が前年比130万バレル増から同140万バレル増、17年が同120万バレル増から同130万バレル増に上方修正しました。IEAは、今回の合意が遵守されれば、17年前半に供給不足に陥ると予想しています。
- 協調減産成立による需給の改善見通しから、原油価格は今後も堅調に推移すると予想されます。ただ、価格がバレル当たり55ドル～60ドルを超えると、米国のシェール生産が拡大する可能性があり、上値の余地も限定的と考えられます。当面のところ、原油価格は同50ドル近傍での推移となりそうです。

【今回の合意による主要産油国の生産枠】(単位：万バレル/日)

OPEC加盟国	生産量の上限	生産実績	
		11月実績	削減量
サウジアラビア	1,006	1,051	▲45
イラク	435	456	▲21
イラン	380	370	9
UAE	287	300	▲12
クウェート	271	279	▲8
OPEC総計	3,250	3,387	▲137

(注1) OPEC加盟国14カ国のうち生産量上位5カ国。OPEC総計にはその他加盟国も含まれる。単位は万バレル/日。
 (注2) 生産実績は2016年11月の値。削減量は11月実績対比。
 (注3) 四捨五入の関係で、生産量上限と同実績の差が削減量と一致しない場合があります。
 (出所) OPEC「OPEC Monthly Oil Market Report」2016年12月号、OPECプレスリリースを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データ期間は原油価格が2011年4月22日～2016年12月15日、リグ稼働基数が2011年4月22日～2016年12月9日、週次データ。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも
チェック!**

2016年11月17日 石油「リグ」稼働状況と原油価格（グローバル）
 2016年11月16日 資源価格の動向 原油価格は軟調だが、非鉄金属の価格が上昇

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。